

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 安住

目標達成計画書

作成日: 平成 22年 12月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取組	会議は家族、地域住民の参加しやすい日時に開催しているので、行政職員の参加が難しい。今後は行政職員の参加をお願いしていく。	年6回の会議を行政中心と家族、地域住民の参加出来る日時分けて、開催出来るように、年間会議計画書を作成し委員に早い時期に案内し、参加可能な会議にしていく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者、家族とホームの信頼関係は深いものがあると自負しているが、家族間で交流する機会を作り、共通の悩みや心配事を話し合う場を設けて、家族との協力関係を構築していく。	家族交流会から家族会を設立し、家族会としての意見、要望をホームに出して、出来ることから、ホーム運営に反映していく。	12ヶ月
3	37	災害対策	防災訓練の実施や消防講習会参加等、積極的に防災対策を実施しているが、階上のアパート住民や地域の方に、参加してもらい、避難訓練の実施をしていく。	地域住民の協力を得て、避難訓練に参加してもらい、電気、水道、ガスが使用出来ない非常災害時の、非常食、飲料水、毛布等の備蓄の用意をする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。